取扱説明書

プロジェクトをスタートする前に必ずお読みください。

最良のペイント結果を得るために、いかに記載されたような状況下ではペイントの塗布を中止し、適正な条件を整えてからペイントを開始してください。

●シールドコンクリート（コンクリート表面にコーティングが施されている場合）：コンクリート表面にコーティングが施されているか判断するために、数カ所に少量の水を垂らしてください。細かい水玉になるようでしたらコンクリート表面にコーティングが施されており、適正なペイントの付着を得ることができない可能性があります。

●接着不十分なペイントがすでに塗布されている場合：もし、コンクリートに剥がれかけているようなペイントが塗布されている場合、ヤスリやスクレーパーできれいに削り落としてください。またすでに塗られているペイントの粘着力を確認するため、以下の作業を行い、古いペイントの粘着力が十分残っているかご確認ください。

1. カッターやカミソリなどで古いペイントが塗布されている箇所に X 印を入れるようにコンクリートに到達するように切り込みを入れます。

2. 10 センチ程度の長さの粘着力の強いガムテープを使用して、X 印を入れた箇所に貼り付け、しっかりと押さえつけます。

3. 貼り付けたガムテープを勢いよく、一気に剥がします。

4. ガムテープを剥がした箇所にペイント付着しているか確認します。もし剥がしたガムテープの表面面積 25%以上にペイントが付着していたら、塗られている古いペイントの粘着は十分であるとは言えません。古いペイントを完全に剥がしてからエポキシ・シールドの塗布を行ってください。

※古いペイントを剥がした際に、鉛成分の含まれた塵、粉塵が発生することがあります。鉛成分は有害です。鉛成分が含まれた粉塵を吸い込んだり、直接触れたりすることは、脳障害などあなたの健康状態に深刻な影響を及ぼす恐れがあります。特にお子様、妊婦の方には絶対に鉛成分に触れることのないよう細心の注意をお払いください。古いペイントを剥がす際は、粉塵を吸い込まないよう、NIOSH 認定のマスクをご使用ください。また剥がしたペイント、発生した粉塵は HEPA フィルターを装備した掃除機、濡れたモップなどでコンクリート面をきれいにしてください。鉛成分と健康の管理についての詳しい情報は、National Lead Information Hotline www.epa.gov/lead にてご確認できます。

●コンクリートに水分が含まれている場合：60 センチ四方程度のビニール（ゴミ袋など）

をコンクリート面に四方をテープで固定します。24 時間後にビニール内部を観察し、水分がついていたり、コンクリート面が水分で色が変わって湿っていたりしているようでしたら、コンクリートには水分が含まれています。エポキシ・シールドの塗布をおやめください。

●コンクリートが欠けている、完全に固まっていない、ホコリなどで汚れている場合：エポキシ・シールドを塗布してもきっちりと定着しません。コンクリートの状態を完全にしてから塗布を開始してください。

本製品は室内ガレージのみでご使用ください。直射日光の当たるカーポートや屋外駐車場での使用を想定しておりません。新しく打たれたばかりのコンクリートにエポキシ・シールドを塗布する際は、コンクリートが打たれてから完全に固まり定着する最低 28 日目以降に行ってください。エポキシ・シールドを塗布するのは気温 15.5℃～30℃、湿度 80%以下の条件で行ってください。コンクリートの適度な温度に上がるまではある程度の時間がかかります。前日の気温が 15.5℃以上あったことをご確認ください。コンクリートに塗布することが出来る最低温度は 13℃程度です。塗料の一番良い乾燥条件はお昼前後になります。本製品のご使用前は日陰の気温 27℃以下の条件で保管してください。この気温条件以上で本製品を保管すると、乾燥が始まるまでの作業時間が短くなってしまう可能性がありますのでご注意ください。

下準備
下準備は適正な結果を得るために非常に重要です。

フロアの油分、グリースを除去してください。ブラシや油分を除去するクリーナー、もしくはソルベントなどを使用して染みついている油分を落としてください。ブラシで確実に汚れを落として、乾いたペーパータオルなどで拭き取ってください。汚れが落ちたら最後は水で洗い流してください。必要であれば以上の作業を繰り返します。

本製品に同封されている濃縮クリーナーを約 7 リットルの水で薄めてください。クリーナーが完全に混ざるまでかき混ぜます。このクリーナーにはクエン酸が僅かに含まれています。※塩酸を使用しないでください。プラスチック製のじょうろなどを使用すると上手くまくことができます。

ホースなどを使用してフロアの均等に濡らします。1 カ所に水がたまらないように注意してください。先に準備したクリーナーを 3 メートル四方程度に均等にまいて、たわしなどの固いブラシを使用してきれいに磨き、汚れを落とします。その間、フロア全体はぬれた状

態を維持してください。3 メートル四方程度ごとに作業を進めてください。

たわしで磨き、汚れを落としたら、その箇所を丁寧に洗い流していきます。スポンジなどに水を十分含ませて洗い流していくとうまくいきます。この作業を最低 2 回は繰り返し、汚れ分を完全にガレージから洗い流してください。全ての箇所の汚れが取れ、洗い流したら最後のガレージ全体を濯ぎ、クリーナー成分が残らないようにしてください。またフロア上に水分のたまった箇所が残らないように注意してください。ウエット／ドライバキュームを使用してホコリやゴミを吸い取っても構いません。クリーナー溶剤が流れたドライブウェイや芝生、その他植物などはしっかりと濯げば変色も起きません。

※フロアをしっかりと洗い流して、濯いでいないと、コーティングがコンクリート表面に定着しない恐れがあります。

エポキシ・シールドの混合

装飾用のペイントチップはエポキシ・シールド溶液に混ぜないでください。溶液 Part A と溶液 Part B を最低 3 分間混ぜます（作業をスタートさせる際、溶液 Part A と溶液 Part B は必ず混ざってなくてはなりません）。表を参照の上、溶液を混合後、適正な時間をおきます。直射日光の下に溶液を置かないでください。シールド溶液の塗布開始前に再度かき混ぜてください。※エポキシ・シールドが塗られたフロアは濡れると滑りやすくなる可能性があります。ご希望の方は滑り止めの溶剤を加えることが出来ます（溶剤の混合についてはメーカーの指示に従ってください）。本製品以外のキットと組み合わせて使用する場合、同時に複数のキットの溶液を混ぜないでください。均等な艶、色味を得るためには、コーティングの塗布は表の指定時間にあわせて作業を開始してください。

エポキシ・シールドの塗布

別表のシールド溶液の待機時間が経過したら、品質の良い合成毛ハケを使用して、境目や端から塗布を開始します。手際よく作業を進めて全体の作業時間を指定時間内で完了できるようにしてください。適正のローラー開始時間が経過したら、適正サイズのローラーを使用してフロア全体の塗布を開始します。作業は 1.2 メートル四方程度ごとに行うと、装飾用チップを塗布直後に適正に散布することが出来ます。艶のばらつきやムラが出ないように注意を払います。シールド溶剤がウエットなうちに装飾チップ希望に応じてまいてください。装飾チップをまいてもまかなくてもシールド自体の性能は変わりません。シールドの塗布は 1 回で十分で、重ね塗りの必要はありません。装飾チップはシールドを塗布していない領域にはみ出してしまっても、多少であれば上からシールドを塗ることが出来ます。

この製品は別表に表記されている Pod ライフ時間内に全てのシールド溶液を使い切ってください。推奨指定時間内に使用しないと艶や色ムラの原因となります。溶液の入った容器を直射日光の下に置かないでください。

アプリケーション Tip：溶液を使い切るまでの作業時間が 1〜2 時間（温度により変わる）と限られているため、作業を複数で同時進行することをおすすめします。

乾燥時間

表面が乾燥し、足を軽く踏み入れる程度：12〜16 時間
重量物を置き、ひんぱんに足を踏み入れることが出来るまで：24〜48 時間
完全に定着し、車両を搬入することが出来るまで：7 日間
※気温や湿度によって乾燥時間は変わります。

エポキシ・シールドの後始末
使用したツール類は中性洗剤を使用して温水で洗い流してください。残った溶液は固まるのを待って、地元の廃棄処理法規にしたがって処分してください。

エポキシ・シールドの塗布面積
本製品 1 キットで、約 23 平方メートルもフロアのペイントが可能です。表面の比較的粗いコンクリートにはより多くの溶液が必要です。このような条件下では約 12〜19 平方メートルのペイントが可能です。

安全上の情報
皮膚や目に直接溶剤を触れないでください。
溶液が皮膚についた場合は、石けんなどで溶液がついた箇所を洗い落としてください。
目に溶液が入った場合は、最低 15 分、水で目を洗い、医者ご相談ください。
飲み込んだ場合は無理ははき出さず、グラス 1〜2 杯の水もしくは牛乳を飲んで、直ちに医者に相談ください。

お子様の手の届かないようご注意ください。体内に摂取しないでください。

別表

15.5〜21℃
溶液を混合してから塗布開始までの時間

ハケによる（端や境目）ペイント開始：30 分
ローラーによるペイント開始：45 分
溶液を使い切るまでの使用時間：2 時間
ペイントするのに適した時間：午後 1 時以降

以下同様で数値のみ変化します
22〜27

28〜30